

事業活動を取り巻くリスクをまとめて補償

商工会議所・入会のメリット 「ビジネス総合保険」のご案内

近年、各地で自然災害が頻繁に発生しています。先日の熊本地震でも被災地の甚大な被害に加え、被災していない地域においてもサプライチェーンの途絶等により、事業活動を中断、休業せざるを得ない状況が頻発しました。今年度、全国の商工会議所会員事業所を対象に、自然災害をはじめ、事業活動を取り巻くリスクをまとめて補償する「ビジネス総合保険制度」がスタートしました。ぜひ、この制度を活用して備えましょう。

様々なリスクに備え 安心して事業を継続

賠償責任リスク	
資材置き場の材木が倒れ、近くで遊んでいた子供がケガをした。	給排水管から漏水し、階下のテナントが水浸しになった。
高額な損害賠償金支払いになるケースにも備えることができます。	
事業休業リスク	
火災が発生して店舗が焼失し、休業した。	集中豪雨によりビルが水浸しになり、店舗を休業した。
災害時の運転資金の確保、早期復旧の準備、防災計画の備えが可能です。	

加入しやすい保険料と手続

保険料水準は全国商工会議所のスケールメリットを活かした団体割引による割安な水準を実現しました。例えば、売上高1億円の飲食店で、賠償補償（「施設・業務遂行」「生産物」「管理財物」「情報漏えい」）支払限度額1億円、免責金額（自己負担額なし）と事業休業補償（1日当たりの保険金額10万円）とした場合、一般で同種の保険に加入すると年間保険料は約28万円ですが、本制度の総合補償型では約21万円となり、約7万円割安になります。

※商工会議所会員なら最大約33%の割引になります。

このように、現在加入している保険に必要な新しい補償を加えるといった見直しをした場合でも保険料を節減できるケースもあります。また、保険料は売上高を基礎とした簡易な方法で算出できるため、多くの会員事業者が加入しやすい制度となっていることも特長です。

ビジネス総合保険制度と一般契約の保険料比較（飲食店、売上高1億円の例）

補償条件		ビジネス総合	一般契約
賠償補償	施設・業務遂行	支払限度額1億円 免責金額なし	約18.5万円
	生産物		
	管理財物		
	情報漏えい		
事業休業補償	1日当たり保険金額（日額）10万円 支払対象期間3ヵ月	約2.5万円	約3万円
年間保険料（合計）		約21万円	約28万円

※金額は東京海上日動火災保険㈱の例



加入者の声

「清掃業」

これまで火災保険、賠償責任保険に加入しており、複数契約の管理が大変だったが、一つにまとめることでモレ・ダブリを解消しつつ必要な補償を加えることができた。

「機械設備修理業」

これまで業務中や業務外の賠償に備え、複数の保険加入をしていたが、ビジネス総合保険に一本化することで保険料の節約につながった。

「飲食業」

訪日外国人が来店するが、過去にクレジットカードの決済をめぐる言語が通じず困った経験がある。この保険には多言語電話通訳の付帯サービスがついているので制度加入を決めた。

協力・東京海上日動火災保険㈱ 静岡支店

文責・総務部会員サービス課

お問合せ

054-253-5112